

志せん。併用意ふく。斯の如く令せられたり。惟任准任高と法の姓字たる者を名  
總主とす。將亦本ト秀吉に、羽柴の氏を獨んね。是の如く  
一人を將亦本ト秀吉に、羽柴の氏を獨んね。是の如く  
御家人の叙爵の儀式相承く。おもろく在京す。すくうち。西園方  
の大小彦がわく上洛して信長ふ謁。勤力を通す。たゞらる。中に  
も小奇政城の先奉職。回家と合辞せし。今度も京都へ來候  
きよふ。赤松の家督。孫三郎。乾房。村上源氏小寺。義体ひ。信長に謁し。  
御將軍の旨。改言狀。其外別所。源右衛門。重株。僕。冬。信。されば。  
信長懇切小祠をうけらる。各これに歸信。か。感謝して歸坐する。  
其後京郊の政事等。諸考あく。令屬ら至く。御序圖の通條  
に附瀬田ふしほせら。長橋双方。抵敵をびも。山星。東流。木村  
治。舟。左衛門。信。ふ。同。七月十七日。岐阜へ。御序圖。ましく多  
益。小國。誠。前。ハ。先年。一揆。始。起。て。今。ハ。本願寺の。不深と。あ。て。領  
せし。う。お。持。川。より。も。護代を。居。國中の。政事。伐。執。行。ひ。始。く。靜。穆。あ  
たる。の。不。小。一。揆。の。業。今。ハ。又。金。銀。賊。宝。を。廢。まで。得。く。也。不。は。篤。著  
伐。却。々。ゆ。名。國。法。小。隨。と。だ。我。意。の。不。為。の。ミ。多。切。り。急。を。守。獲  
代。これ。を。咎。れ。ど。些。微。も。制。山。城。用。ひ。ば。そ。荔。び。縛。勤。を。催。一。た。す。時  
未。れ。と。羽。柴。秀。吉。聲。に。岐。阜。へ。往。伸。あ。て。信。長。に。も。遠。事。を。祐。く。多  
き。機。拿。され。を。併。收。喜。あ。か。く。あ。び。り。て。速。小。陣。泊。す。く。同年  
八月十三日。岐。阜。の。城。を。奮。發。せ。くる。まづ。先。陣。の。門。へ。惟。任。日。向。守。充  
秀。柴。田。修。理。之。進。勝。家。惟。任。み。舟。左。衛。門。長。秀。羽。柴。荒。前。も。秀。吉。長  
秀。去。大。捕。糸。孝。佐。内。元。助。成。改。系。因。体。中。ち。長。後。戸。次。右。近。政。辰。  
益。本。持。津。ち。村。重。俊。其。勢。三。万。六。千。餘。兵。ほ。ぎ。の。信。長。の。御。旗。本。稻。葉。